

みんなにとって
実りある年に
なりますように



祝 2024年 祝 新年、あけましておめでとうございます 祝

昨年も、沢山の生徒が図書館へ足をはこんでくれました。本年も『楽しい図書館』を目指して
図書委員とともに精進していきます。よろしくおねがいいたします (_ _)

推し本

『黒い兄弟』 リザ・テツナー

主人公は、貧しさのため、頬に傷のある男に
売られてしまった。同じように貧しく家族に
売られた子どもたちと、海を渡りミラノへと
向かった。そこでは、煙突掃除夫として過酷
な労働を強いられた。ひどい仕打ちにも耐え
ながら希望を捨てず、故郷へ帰るために同
じ環境の子を集めて「黒い兄弟」という秘密結
社をつくる——

『サラバ!』 西加奈子

海外で生まれ、幼少期を海外で過ごし
た主人公。そこでの出会いを胸に
日本で社会生活をする。癖の強い母と姉に
挟まれ、複雑な人間関係に悩まされ、人生の
帰路に立った主人公は——

直木賞を受賞した本作品。

まるで1人の少年の人生を

除き見ているようで

不思議な気持ちになります。



特集

1月特集①

『新年の抱負を見つけよう』

名言、格言、四字熟語 などなど

新年の抱負になりそうな言葉が沢山

載っている本を集めて紹介しています。



1月特集②

『2024 推し本』

2024年、話題になりそうな本を
集めて紹介しています。

一足早く、話題を先取りしませんか？



本に沼るコツ

「1冊の本を最後まで読めない」「本を読む意味が分からない」「読書って無駄」そんな風に思っていないか...?

私が皆さんに読書を薦める理由の1つに、[読解力の向上のため]があります。読解力が高くなると、理解力も自然と高くなります。理解力が高くなると、勉強が驚くほどはかどります。解きづらかった問題も、覚えづらかった単語も、読解力や理解力が高くなると、すんなりと解決することが出来ます。勉強の効率を上げるのに、読書は1番の薬になるのです。

そんな読書を苦手とする人におすすめの読書入門法があります。それは、自分の「好き」から繋げること。好きな人が読んだ本。憧れの先輩が読んだ本。尊敬している先生が読んだ本。推しが読んでいた本。趣味についての本。部活に関する本。などなど、自分の好きなものから繋げていくと、苦手意識が少しは減り、読書に励むことができ、気づいた時には本に沼っていることだと思います。あなたの好きなものは何ですか？ あなたの好きな人は誰ですか？ 読書は、「好き」の側にあります。あなたの好きから、今年も沢山の本に出会えることを祈ります。

図書館おみくじ

みなさん、おみくじはもう引きましたか？

図書館では、図書委員考案のおみくじを
引くことが出来ます！(1日1回)

カウンターの所に縄も引いています。

そこにおみくじを結んでもいいし

結ばず持っけていても大丈夫です。

図書館おみくじ 1日の運試しに

是非、引いてみてください！



福笑い

図書館外の掲示物の所に、福笑いを貼ってます。

目隠しをしなくてもいいので、少ないパーツから

面白い福笑いを作ってみてください。

みなさんが作った福笑いは、写真に撮って

収めていきます。あなたが作った福笑いが



もしかしたら図書館だより
載るかもしれません・・・！

『笑う門には福来る』

是非、遊んでみてください。

